

伝統守り215年 顧客満足度の高い商品を提供

納期
相談
オンライン
技術
メイト
イン
ジャパン
量産
対応



看板商品の「香樹林」

業務内容 トレンドに対応し 高品質な薫物製品を製造

同社は文化元年（1804年）の創業から200年以上、仏専用線香やお香など薫物製品を手がけ、仏具専門店や百貨店への卸販売を行っている。寺院向けから一般消費者向けまで、トレンドや生活の近代化に対応して幅広い商品を製造し、デザイン、品質ともに定評がある。社内の研究開発室では毎年、新商品を発表するなど活発な開発に取り組み、一方、線香の水分量、強度、燃焼時間など独自の規格を設けて高品質な商品供給を徹底している。同社の代表銘柄である線香「香樹林」は、発売から40年以上経った今でも多くのユーザーに愛される人気商品だ。

強み 全製造工程を内製化 時代背景やニーズに即応

同社の強みは、原材料の調合から製造パッケージデザインを含む全製造工程の一貫生産体制だ。近年では、住環境の変化に合わせたコンパクトで煙の少ないお香「ルームインセンスリビングシリーズ」を開発するなど、時代に即応した商品を世に送り出している。また「毎日焚くものだから良い薫りと安心できる品質を」との思いから、平成20年には原材料表示を導入。リビングシリーズでは、線香収納箱を船底形状にして片手で取りやすくするなど、画期的なパッケージデザインを生み出した。全工程を一貫した内製化により、近代的なデザインと伝統を融合させた目を引くパッケージを心がける。

独自製法 独自製法により品質向上 時代に合った商品づくり

独自の製法で品質を保っている。昭和54年に発案した線香の乾燥法「積層乾燥法」は、



新しい製法で品質改善



目視チェックは欠かせない

今後の展望 若年層へアプローチ強化 お香販売ルートを拡大

今後も量より質を追求し、顧客満足度の高い商品を提供していく。若手の製造従事者も育っており、日々技術の伝承も行っている。ただ日本の伝統的な習慣の薄れから、線香の市場が縮小している課題がある。平成29年に結成した同業の若手経営者で構成する「香・未来の会」では、日本薫物線香工業会が制定した4月18日の「お香の日」に、若年層の多い街頭でお香を配布するなどアプローチを強化。同社でもお香に関しては、仏具専門店や百貨店に限定している販売を強化するとともに、そのほかの販売ルートも模索中だ。

当社の歴史



文化元年、雑貨卸商として創業。のちに漢方薬や白檀（びやくだん）など線香原料を中心に取り扱い、2代目社長が清の国からの線香師「董玉初（とうぎょくしや）」より線香技術を授かったのが起源です。明治中期には全国へ販路を拡大し、昭和46年に法人化。「時代即応」をモットーに、日々商品開発に励んでいます。

代表取締役社長 **中造 真一郎さん**

<http://www.koh.co.jp/>

主な事業内容

薫物製品（線香・お香）、ルームインセンスなどの製造卸業

主な取引先（納入先）

仏壇・仏具専門店、百貨店、卸問屋など

住所

〒537-0025
大阪市東成区
中道1-5-13

TEL 06-6975-1881
FAX 06-6971-2182
創業 文化元年
設立 昭和46年3月
資本金 1,000万円
従業員 66名